

MA 用無線ユニット

取扱説明書



- * 取り付け、運転・操作、保守点検の前に必ずこの取扱説明書を熟読し、機器の知識、安全の情報、そして注意事項の全てについて習熟してから正しくご使用ください。

お願い

1. この取扱説明書は無線ユニットをご使用になる方のお手元に確実に届くようお取り計らい願います。
2. お読みになった後も必ず保管され、いつでも再読出来るように保管願います。
3. マイティプラー用の取扱説明書 M-47 と併せてお読みください。





MA 用無線ユニットの安全上の注意

※ 無線ユニットの安全上の注意では注意事項を『危険』、『注意』の2つに区分しています。

 危険	取り扱いを誤った場合に危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
 注意	取り扱いを誤った場合に危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。





尚、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

[絵表示の例]




	禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が記載されています。
	行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が記載されています。  … 「必ずアースを接続してください」  … 近傍に指示内容が記載されています

※お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

1. 取り扱い全般について

 危険	
	取扱説明書 ● 取扱説明書及び注意銘板の内容を熟知していない人は運転しないでください。
	安全衛生教育 ● 労働安全衛生法に規定されている安全衛生教育を受けた人が運転してください。（労働安全衛生法 第59条、労働安全衛生規則 第35条） 点検 ● 作業開始前の点検や定期自主検査を必ず実施してください。
	改造禁止 ● 本製品を絶対に改造しないでください。故障や思わぬ事故の原因となります。また、追加工や部品を取外した状態での使用もしないでください。

2. 取付けについて

 危険	
	取付け資格 ● 専門業者または専門知識の有る人以外は配線しないでください。
	アース工事 ● マイティプラーには必ずアース工事を行ってください。また、アースの他に漏電遮断器を電路に取り付けてください。

－ 始めに －

本機はマイティプラー専用のオプション製品です。取扱いが適正に行われませんと、思わぬ故障や事故の原因となります。この取扱説明書を熟読の上、本機の性能を十分に理解し正しい取扱い、保守にご活用頂きますようお願い致します。

<目次>

1. 主要諸元	1
1.1. 仕様	1
1.2. 外観および各部の名称	1
2. 取付け上のご注意	2
2.1. 使用環境上のご注意	2
2.2. 取付け方法	2
3. 運転方法	2
3.1. 運転方法	2
3.2. 無線操作の注意事項	3
4. 保守・点検	4
4.1. 結線図	4
4.2. 無線送信機の電池交換	6
5. 一般的な故障の原因とその処置について	6
6. 全国指定協力工場一覧	7

1. 主要諸元

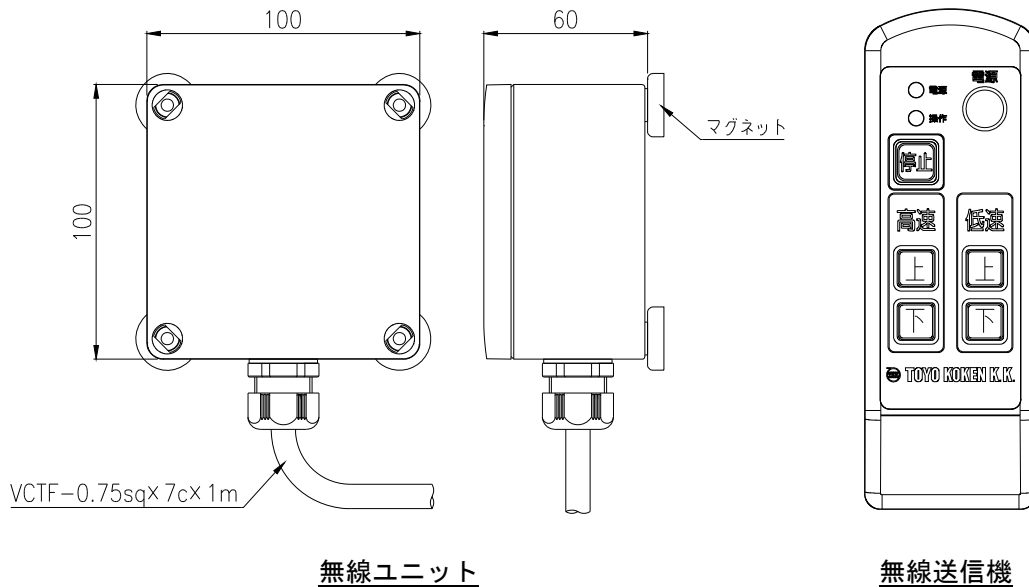
1.1. 仕様

電源	AC200V 50/60Hz
無線仕様	429MHz帯 特定小電力 ※1
保護等級	IP65
対応機種	MA-2~25(S)、MA-□G□(S)、MAW-40H□(S)
対応操作スイッチ	無線送信機×1 ※2
操作コード	無し
同梱品	無線ユニット×1、無線送信機×1、電線(600mm)×1

※1 水平送信距離 100m 以上、垂直送信距離 50m 以上（障害のない場合）



※2 無線 2ヶ所操作には対応していません。

1.2. 外観および各部の名称



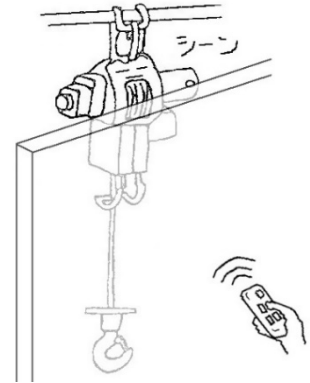
2. 取付け上のご注意

2.1. 使用環境上のご注意

 注意	
	無線操作の場合、次の条件では使用できないことがあります。

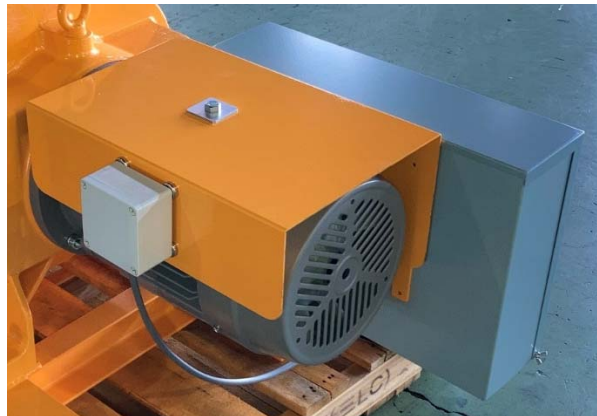
- 製品と無線送信機の上に障害物ある場合。
- 周辺の電波状態が悪い場合。

上記のような場合には、非常停止付きペンダントスイッチを別途ご用意いただくことで操作できるようになります。



2.2. 取付け方法

背面のマグネットにて平滑な金属部分に取付けてください。



3. 運転方法

3.1. 運転方法

電源：ボタンを約1秒押し続けると無線送信機の電源が投入され、電源ランプが赤に点灯し、操作可能状態になります。もう一度ボタンを約1秒押しすと電源ランプが消灯し、電源が遮断されて操作不可状態になります。

注) 5分間操作をしないと自動で電源が遮断されます。

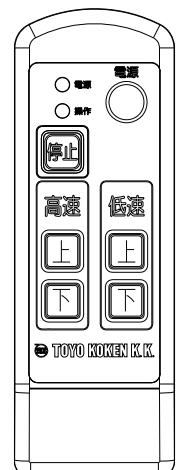
停止：ボタンを押すと電源を遮断し、全ての操作ができなくなります。電源を再度投入することで解除します。

低速上：ボタンを押し続ければ巻上げします。(2速ウインチの場合は低速で巻上げ)

低速下：ボタンを押し続ければ巻下げします。(2速ウインチの場合は低速で巻下げ)

高速上：ボタンを押し続ければ高速で巻上げします。(2速型ウインチのみ)

高速下：ボタンを押し続ければ高速で巻下げします。(2速型ウインチのみ)



3.2. 無線操作の注意事項

無線送信機はペアリングされたウインチのみ操作でき、1台の無線送信機でウインチ1台のみ操作できます。また、無線送信機の同時に送信できる台数は合計5台までです。ただし、各無線送信機が近距離にあると混信して動作しなくなりますので、その場合は少し離れて操作してください。

無線送信機のランプ点灯状態の意味

電源ランプ	赤 点灯	電源 ON (送信可能)
	緑 点滅	電池電圧低下 (送信可能)
	赤 点滅	電池電圧低下 (送信不可能)
	橙 点灯	空き周波数が見つからず操作できません
操作ランプ	赤 点灯	送信中

注意



- 無線ユニットおよび無線送信機は、日本国内でのみ使用できます。（国外での使用はできません）
- 無線送信機の電池電圧が低下すると電源ランプが『緑』で点滅します。電池の交換を行ってください。
- 電源投入時に使用可能な周波数が見つからない場合、電源ランプが『橙』で点灯し操作できません。電波環境の良いところで操作してください。
- 見通しの良い、障害物の無い所でご使用ください。また、受信状態のあまり良くない環境でのご使用時には、無線送信機のある方向に無線ユニット（受令機）を移動させると受信感度が向上します。

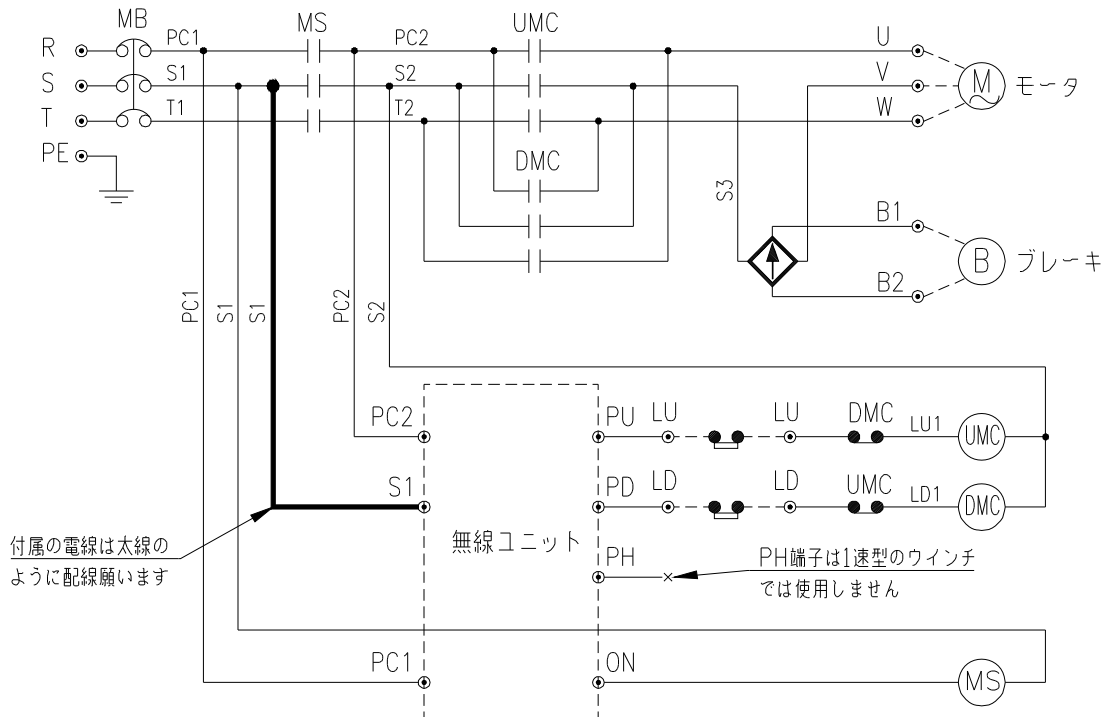
危険



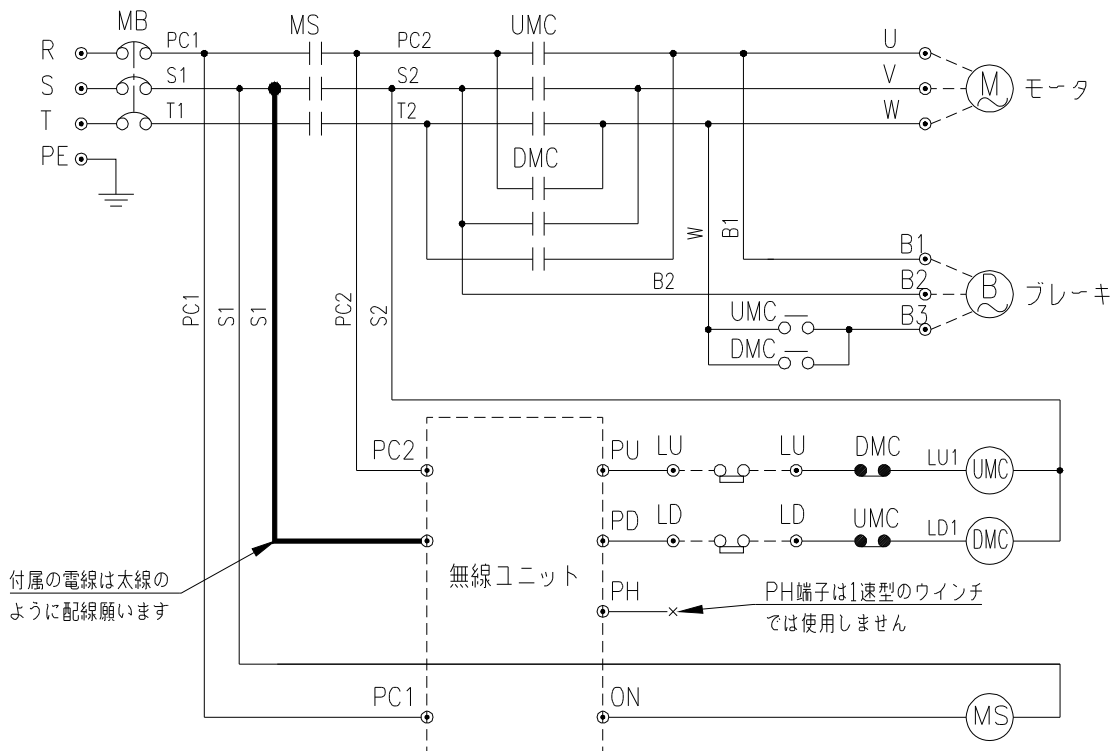
- 作業前に必ず無線送信機のボタンを押し、目的のウインチが正常に動作するか確認してからご使用ください。
- 無線ユニットの端子固定ネジが緩んでいると誤作動の原因となり大変危険です。
- 使用しないウインチの電源は必ず遮断してください。
- 運転中は必ずウインチの動きから目を離さずにご使用ください。
- 見通せる位置で安全を確認してから操作してください。また、操作しないときは無線送信機の電源を切ってください。

4. 保守・点検

4.1. 結線図



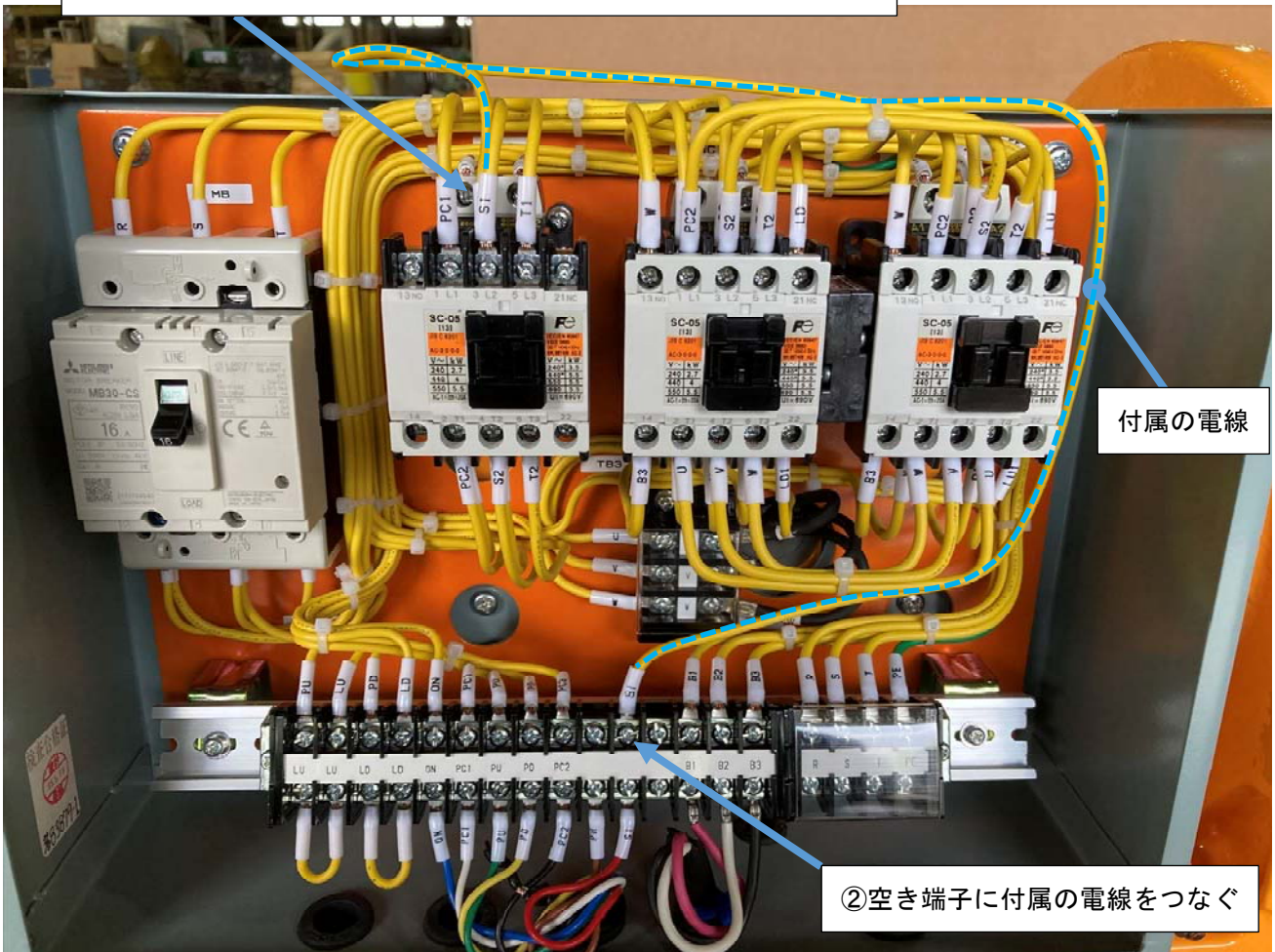
MA-2(S)



MA-3(S)~25(S)、MAW-40H□(S)、MA-□G□(S)

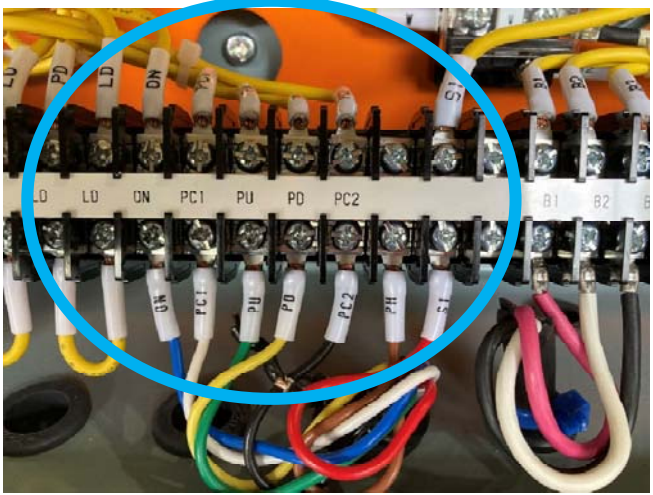
結線参考写真

①電磁接触器（MS）の一次側の S1 端子と一緒に端子をつなぐ



付属の電線

②空き端子に付属の電線をつなぐ



③有線操作スイッチのケーブルを外し、無線ユニットのケーブルを写真のように取り付けます。

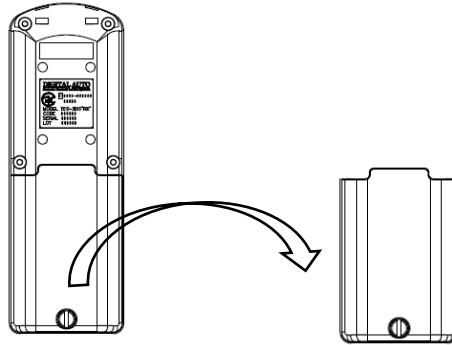
（PH 端子は 1 速型では使用しないため空き端子に止めてください）

※ インバータ制御等の特殊ウインチや廃止機種に使用する際は、弊社にご相談ください。

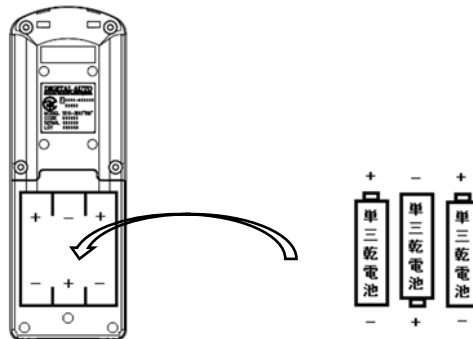
4.2. 無線送信機の電池交換

単三形アルカリ乾電池を3本使用します。

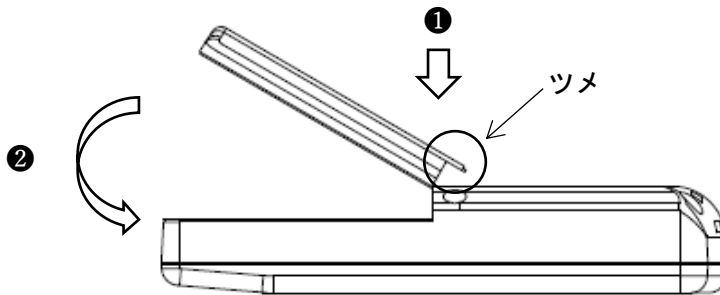
- ① 無線送信機裏面のビスを回し、フタを外します。



- ② 古い乾電池を外し、極性（+，-）を間違えないように新しい乾電池3本を入れてください。



- ③ フタを取り付ける時に下図○印部にツメが有りますので、①ツメ部をしっかりと引掛け、②の様にフタを閉めてビスでしっかりと取り付けてください。



5. 一般的な故障の原因とその処置について

修理の際はご自分でなさらなくて、必ずお買い求めの販売店または、次ページ掲載の最寄りの弊社指定工場にお申し付けください。

故障または不具合	原因	処置
ボタンを押しても動かない	電池の電圧が低下している	電池の交換
	電源投入時に無線送信機の電源ランプが『橙』で点灯する	電波環境の良いところで操作する
	無線送信機同士が近すぎて、電波が干渉する	無線送信機同士を離す